

基本構想原案に対する意見

〔白抜き部分は今回の審議会で
主に議論いただきたい内容〕

表1 (第6回会議での意見)

頁	該当箇所	意見内容	対応
-	全体	元号と西暦が併記されているところと、元号だけの表記のところが混在しているため、表記を統一すべきである。	修正
-	全体	厳しい財政状況にもかかわらず、将来の都市像にしても、キーワードにしても、危機感が全然感じられない。市民が基本構想を読んでも危機感が実感できない。 本当に財政が厳しいのであれば、もう少し厳しいことを前面に出すような言葉を選び、市民一人ひとりが、本当に責任を感じるような、自分たちで築く宇部という意識を持てるような言葉をどこかに盛り込んでもらいたい。	
2	第1部 1 基本的な考え方	13行目「転換期・分岐点に適切に対応し」「転換期に適切に対応し」	修正
3	第1部 3 今後の取組について	9行目「市民その他の多様な主体」「市民を始めとした多様な主体」	修正
17	第5章 まちづくりの 基本理念	11行目「協同一致」か「共同一致」かを確認する。	原案 どおり
17	第5章 まちづくりの 基本理念	11行目「今日の宇部市を築き上げる理念であった「共存同栄・協同一致」の精神と「人間が尊重される都市づくり」の市民宣言を宇部のこころとして尊重する。」 「今日の宇部市を築き上げる理念であった「共存同栄・協同一致」と「人間が尊重される都市づくり」の市民宣言を宇部の精神(こころ)として尊重する。」	原案 どおり
17	第5章 まちづくりの 基本理念	11行目「共存同栄・協同一致」の歴史的な解釈の説明を入れる。	原案 どおり
18	第6章 求める都市像 1 将来の都市像	都市像で「元気」をキーワードにすることは異存はないが、「創造」という言葉はないほうがよい。 今の宇部市は元気があると思うので、将来も元気を持続し、誰もがその人らしく生きていける地域を望む。	
18	第6章 求める都市像 1 将来の都市像	キーワード自体には異存はない。ただ、5つのキーワードの順番で「市民力」と「地域ブランド」に位置を入れ替えた方が図の説明がつきやすい。つまり、「環境」は「地域ブランド」であり、市民の「安心」につながる、「地域ブランド」は「環境」と「市民力」、「健康」は「市民力」で創り「安心」を創造、というようつながりがよい。	仮修正
20	第6章 求める都市像 2 分野別目標	「教育文化分野の目標」の2行目 「理科系の高等教育機関」「多様な高等教育機関」 宇部市内には、フロンティア大学、宇部短大、そして、理科系にしても、医学部、工学部、宇部高専と多様だ。いろいろな高等教育機関があることは宇部にとって素晴らしいことなので、「理科系」と限る必要はなく、むしろ「多様な」という考え方のほうがよい。	修正
20	第6章 求める都市像 2 分野別目標	「産業振興分野の目標」の5行目 「都市イメージのブランド化」「都市イメージのブランド化やコンベンション誘致」	修正
27 28	第8章 主要指標の見通し	審議会の判断材料として、国立社会保障・人口問題研究所の推計に当たっての要素や前提条件の資料を示してほしい。	提示

表2 (会議後に提出された意見)

頁	該当箇所	意見内容	対応
19	第6章 求める都市像 2 分野別目標	「健康福祉分野の目標」の3行目 「高齢者や障害者等が生きがいを」「高齢者や障害者も生きがいを」 つまり、高齢者や障害者を別扱いにするのではなく、彼らも含めてというニュアンスの文言がよい。	修正
19	第6章 求める都市像 2 分野別目標	「健康福祉分野の目標」の8行目 「教育や生活環境などの取組と連携しながら」「他の分野の取組と連携しながら」 つまり、健康福祉は産業にも大きくかかわりのあるものである。従って他の全ての分野との連携が必要である。	修正
20	第6章 求める都市像 2 分野別目標	「行政経営分野の目標」の4行目 「厳しい財政状況にある中」削除 この文言を基本構想に書くことに少し違和感がある。今後12年間の基本構想というものに、現下の状態(将来にわたるかも知れないが)が記述されているのはいかがか。基本構想はビジョン(あるべき姿=夢)だと思っているので、この文言は実行計画の中に移すべきではないか。	
27	第8章 主要指標の見通し	「老年人口」とあるが、「高齢者人口」と文言変更できないか。戦略の中では、全て高齢者という文言を使ってきたし、「老」より「高齢」の方がよいのではないか。	原案 どおり
28	第8章 主要指標の見通し	世帯数および就業人口のデータの出典の記載をすべきである。	修正

表3 (修正後の原案に対する意見)

頁	該当箇所	意見内容	対応
3	第1部 3 今後の取組について	8行目：先日の構想案に が追加されているのはなぜか。この文言があると、今回の基本構想の意味が薄れるように思う。変化に応じて見直しが行われることはあり得ることなので、もし文言として入れるのなら、実行計画策定期間の4年毎の見直しという内容にした方がよい。あるいは、中間点の6年目で見直しにするか。	
8	第1章 大きな時代背景と社会環境の変化 3 意識・価値観の変化	「社会への貢献の高まり」5行目：「協働社会」の用語があるが、「協働」の文字を使用した意味は何か。なぜ「協同」ではないのか。(以降の「協働」も同じ。)	原案どおり
13 15	第3章 まちづくりの課題 2 主要課題の整理	5つの課題に対し、左に説明、右に強み・弱みを整理し、工夫の跡が伺えるが、左下の課題項目については、「課題」のような見出しを入れたほうが分かりやすいのではないか。 (事務局案：「主要な課題」の文言を追加する。)	修正
13	第3章 まちづくりの課題 2 主要課題の整理	「誰もが安心して、快適に暮らすことができる生活環境の形成」 最終行「就労機会の確保」「就労機会の促進」	修正
14	第3章 まちづくりの課題 2 主要課題の整理	「市民の健康的な暮らしの実現」 左1行目：「全国的にも今後は人口減少」「全国的にも人口減少」	修正
16	第4章 今後のまちづくりに向けたコンセプト	中程の合言葉図に関しては、原案の方が良い。つまり、「人が元気 地域が元気 まちが元気」の方が心にしっかりと伝わってくる。説明文等は修正案で可。活力・交流・協働をキーワード表示するのなら、元気の横に追記するというやり方もあるように思う。	
21	第7章 まちづくりのために 1 まちづくりの進め方	「市民力」のキーワードの説明 「質の高い市民力」「市民力」 「質の高い市民は？」との意見が出てきそうなので不要。	修正
21	第7章 まちづくりのために 1 まちづくりの進め方	「地域ブランド」のキーワードの説明 「うべブランド」とするか「宇部ブランド」とするか。私の感覚では漢字の方が全国的に通っていると思し、イメージ化なので、漢字が良いと思う。	修正
22	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「環境」	「(2)12年後のまちの姿」 3項目の「環境共生都市」の定義は何か。 「環境共生都市が実現して」「環境共生都市が促進されて」	原案どおり
22	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「環境」	「(3)取組内容」中の「生活環境」 4項目と5項目はまとめた方がよい。 例えば「太陽光発電、エコカー、公共交通等の省エネルギー資源の活用を促進し、まちの環境負荷を低減します。」	原案どおり
23	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「環境」	「(4)成果目標」 以降も同じだが、基本構想中に具体的な成果目標を入れるかどうか。具体的な目標設定が必要ということであれば、これだけではないはず。 例えば、後から出てくる障害者就労に関する目標値をどうするのか等々、全ての項目に目標値が必要となってくる。 したがって、基本構想では、あるべき姿を提示し、実行計画の中で数値目標を入れた方がよいと思う。(全てに目標値を入れるとなると、審議の時間が足りない。)	
24	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(2)12年後のまちの姿」 2項目「高齢者や障害者もが安心して暮らすことができ、若者が集う魅力的な中心市街地」の部分「中心市街地」「まち」 中心市街地のみを対象とせず、まち全体のイメージの方が良い。	
24	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(3)取組内容」中の「生活環境」 1項目：自転車と徒歩のみでよいか。車椅子、視覚障害者、トイレ問題等々、大きな問題を含んでいると思う。一方、2項目がこれを含んだものと解釈できるので、1項目は削除した方がよいのではないかと。 2項目：「質的整備」とは何か。「***のような質的整備に」という文章にした方が分かりやすいと思う。	
24	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(3)取組内容」中の「産業振興」 1項目「空き店舗等を活用した～」は「安心」キーワードと違和感がある。どちらかといえば、「環境」ではないかと。	
26	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「健康」	「(2)12年後のまちの姿」 2項目「地場の農水産物の～」 「(3)取組内容」中の「産業振興」1項目「消費者と生産者の～」 「健康」キーワードと異質。「安心」ではないかと。	
30	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「地域ブランド」	「(3)取組内容」中の「健康福祉」 「障害者雇用の先進都市」「障害者就労の先進都市」 「雇用」に限定せず、支援付就労(福祉的就労)も含んだもので進んでいるので、「就労」という文言が良いと思う。	